

「里のほほえみ」の良質安定栽培技術の確立

要約

大豆「里のほほえみ」について、播種量 4.5kg/10a・5.5kg/10a 両区において子実重、品質および収支に大きな差はみられなかった。

○ 展示のねらい

・目的

「里のほほえみ」の収量及び品質（裂皮粒・しわ粒）が安定する栽培法を確立する。

・展示内容

- 1) 具体的目標 収量：300kg/10a、品質：1、2等100%
- 2) 供試面積 40a
- 3) 展示内容及び試験区概要

区名	供試区 1	供試区 2
排水対策	畝立栽培による、出芽の安定化	
施肥	大豆ひとふりくん(15-18-18)：40kg/10a(窒素：6kg/10a)	
播種量	4.5kg/10a (実測：4.03kg/10a(65cm×14.5cm)) (10,770株/10a)	5.5kg/10a (実測：4.98kg/10a(65cm×11.6cm)) (13,320株/10a)

(播種量実測値は出芽率 100%として算出)

・播種日：7月15日

・中耕倍土：8月6日

・除草剤：7月16日 エコトップ乳剤、
8月27日 ナブ乳剤、大豆バサグラン
9月8日 ナブ乳剤、大豆バサグラン

・病虫害防除：7月14日 クルーザーMAXX
8月27日 パーマチオン水和剤、
9月8日 プレバソンフロアブル5、アミスター20フロアブル

○ 主な成果

- ・成熟期は、両区とも10月27日であった。倒伏は両区ともほとんど見られなかった。
- ・子実重、成分、大粒率及び百粒重においてもあまり差はみられなかった。
- ・本試験結果では、播種量 4.5kg/10a、5.5kg/10a の両区において目標とする収量を確保することができた。収支は両区でほぼ同等となった。

(1) 生育調査結果

項目	8月6日				8月18日(開花期)				10月27日(成熟期)			
	主茎長	主茎節数	分枝数	葉色	主茎長	主茎節数	分枝数	葉色	主茎長	主茎節数	分枝数	倒伏程度
供試区1	19.0	6.1	1.7	34.2	45.3	10.2	2.8	34.6	60.8	11.1	3.8	1.0
供試区2	19.7	6.3	1.6	35.0	45.9	9.6	2.5	35.2	58.3	10.6	4.3	1.0

(2) 被害粒率

	総粒数	整粒 (%)	虫害 (%)	紫斑 (%)	褐斑 (%)	べと病 (%)	裂皮 (%)	青未熟 (%)	剥皮 (%)	しわ(%)	
										大	小
供試区 1	470.0	82.8	1.1	0.2	3.0	6.6	0.2	3.0	0.2	2.1	0.9
供試区 2	480.0	86.5	1.7	0.0	0.0	6.7	0.4	1.7	0.0	2.7	0.4

(3) 収量調査

	1株莢数	大粒割合(>7.9)	百粒重(g)	子実重(kg/10a)
供試区 1	52.1	97.8	44.5	348.7
供試区 2	41.0	98.1	43.9	351.0

(4) 経費試算 (一部抜粋)

	供試区 1	供試区 2	差	備 考
粗収益	107,051	107,757	-706	畑作物交付金:11,660 円/60kg 品代(見込み):6,760 円/60kg
経費	3,159	3,903	-745	種子購入費:14,010 円/30kg 種子消毒薬剤費:9,504 円/240ml
所得	103,992	103,854	39	

○ 今後の方向性

- ・次年度の「里のほほえみ」への品種切り換えにおいて、適切な土づくり、施肥、排水対策等の実施を再度推進する。
- ・病害虫、特にべと病の発生には注意し、防除適期を検討・推進していく。

実施機関：河内農業振興事務所経営普及部 実施場所：宇都宮市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315